

11月16日
知事選

くらし・平和・安全まもる県政へ

あなたの一票が必要

経済・原発・外交——安倍政権のやることは、日本の国をダメにすることばかり。国民の声を聞かない安倍政権の暴走に不安と怒りが広がっています。だからこそ地方自治体の役割が重要です。県民のくらし、福祉、雇用、地域経済、平和と安全をまもって、国の悪政にもきっぱりものを言う知事が必要です。あなたの「県民の会」候補への一票で県政を変えましょう。

愛媛県政 3つの転換を

「効率優先」から

くらし優先の県政に

県民の賃金や所得が下がり続け、労働者も中小業者も農林漁業者も悲鳴をあげています。深刻な過疎化など市町村合併の弊害、公共施設をはじめとする耐震化率は全国最下位クラスが続いています。山鳥坂ダム、黒瀬ダム分水事業などのムダづかいは続けながら、この10年間で県の土木技術職員が25%削減され、災害対応能力低下や技術継承が懸念されています。

現知事が「株式会社愛媛県」などと言って、医療・介護も「成長産業」(もっけの場)と称して、「効率優先」の県政をすすめている結果です。

この県政を県民のいのちと暮らし最優先の、地方自治体本来の姿に転換します。

対話拒否から

県民参加型の県政に

県下ではたくさんの人たちが、原発問題や労働・雇用、医療・福祉、教育などの運動をしています。現知事は、このような県民運動に携わっている人たち、とりわけ、県政に批判的な県民団体とはいっさい会おうとしません。

対話拒否、「問答無用」の県政から、県民の声、願いにしっかりと耳をかたむける、県民参加型の民主的な県政に転換します。

伊方原発再稼働ダメといえる知事に

現知事は、県民の多数が反対している伊方原発の再稼働について、国や四国電力にたいして再稼働中止や廃炉を求めることはしません。

原発再稼働、消費税増税、集団的自衛権行使容認、オスプレイの飛行、TPPなどの「国策」に反対しない県政から、県民のくらしや安全にかかわること、平和の問題では、国にも企業にもきっぱりものを言う県政に転換します。

明るい愛媛をつくるみんなの会、伊方等の原発をなくす県民連、日本共産党 推薦

「県民の会」の候補への一票は、国の暴走政治ノ一の一票

● 「日本中の原発ゼロ」への一票です

現知事の言う「再稼働に白紙」には、「反対」は含まれていません。「県民の会」候補は立地県から原発ゼロを発信します。

● 「消費税増税ダメ」の一票です

「県民の会」候補は県民のくらし、経済をまもるため再増税に反対します。

● 「戦争する国づくり反対」の一票です

「県民の会」候補は、愛媛の空、海を軍事利用させません。愛媛の若者を戦場に送らないために行動します。

国の悪政につき従う県政から 国にもはっきりものを言う県政へ

